

特預金使途の今後の進め方

施策内容	実施スケジュール				特預金 出えん等 概算額	
	平成29年度		平成30年度以降			
1. 不法投棄・不適正保管対策への支援事業の拡充	①不法投棄・不適正保管事案に関する詳細な調査と対策案の検討・提案	全国の事案調査 103事案(10台以上の事案)		対策検討	自治体に向けた対策等の情報発信 改善状況の把握・確認	3億円/5年 (現時点で想定できない 新規大規模事案等への 対応分2億円含む)
	②自治体に対する研修等ニーズ ②の調査及び研修の企画・実施	ニーズの把握 (平成28年度から実施)	研修の企画	自治体担当者研修の実施		
	③自動車の不法投棄等に関する相談窓口の拡充	現状の把握 (平成28年度から実施)	開設準備	窓口拡充		
		自治体向け広報				
2. 自動車リサイクル情報システムにおけるデータセンターの機能維持のための更新		次期DC 委託 ベンダーの入札	設計/構築/テスト (平成29~30年度)	現行DCから次 期DCへの切替 (平成31年度)	次期DC運用 (平成31~36年度)	非公開
3. 大規模災害への対応	①災害発生時:番号不明被災自動車への再資源化預託金等の預託等※1	南海トラフ地震等、番号不明被災自動車の発生規模が極めて大きいことが 想定される災害発生時に備えた出えん枠の確保				20億円は特に巨大 な激甚災害発生時の 出えん等に備え、 特預金残高の中で 確保する。
	②事前対応:災害時における自動車リサイクルの円滑化に資する情報提供・協力事業	事例等の調査・整理・分析		手引書・事例集 作成	手引書・事例集 改訂	
		災害廃棄物 情報プラットフォームに 連携・確認	外部 コンサル 入札	事例等の調査	取りまとめ ・報告書作成 及び結果整理 ・分析	結果共有
				市町村別 被害推計	地域ブロック協議会 /連絡会との連携	

※1 当該対応のうち、激甚災害指定を受けたものの番号不明被災自動車の発生台数が小規模な場合においては、資金管理料金を原資に対応を行う。

施策内容		実施スケジュール		特預金 出えん等 概算額	
		平成29年度	平成30年度以降		
4. 自動車リサイクルの更なる発展 に向けた理解活動の取組	①情報発信	<p>直ぐに実施できる取組・既存の取組の改善活動 (ex: Webページ記載内容やコンテンツ等の追加・修正)</p> <p>(取組内容の反映) ↑ ↑ ↑ ↑</p> <p>取組内容の検討 分かりやすい情報発信の取組</p> <p>(収集した情報を発信) ↑ ↑ ↑ ↑</p>	<p>PDCAサイクルを回しながら取組を推進</p> <p>更なる発展的取組</p>	13億円/5年	
	②情報収集	<p>・直ぐに実施できる取組・既存の取組の改善活動 ・情報発信に関する効果検証</p> <p>取組内容の検討 自動車リサイクルの現状や実態の変化等の調査</p>			
	③連携促進	<p>(収集した情報を共有) ↓ ↓ ↓ ↓</p> <p>・自治体との情報共有(好事例等共有) ・関係団体との情報共有(課題等共有)</p>			
5. 再生資源等を活用した自動車 に対する再資源化等預託金の 割引※2	①再資源化等預託金の割引 ②割引実務に関連する業務	<p>合同会議での了承</p> <p>制度設計 業務設計</p>	<p>周知準備/実施</p> <p>審査準備/実施</p> <p>申請受付準備/実施</p>	<p>割引開始予定 (平成30年度以降: 期間10年)</p>	<p>102億円/10年 割引額総額: 100億円 関連業務費: 2億円</p>

※2 「5. 再生資源等を活用した自動車に対する再資源化等預託金の割引」については、合同会議での審議を受け、必要に応じて特預金の出えん等の準備を開始する。